

平成30年7月定例記者会見要旨(平成30年7月4日)

1. ブロック塀の安全点検について、市教育委員会所管施設および市所有施設の点検結果について

まず、学校における点検状況について報告する。

市立幼・小・中学校において、6月18日の地震発生後、すぐにブロック塀を含めた危険個所の点検を行った。ブロック塀が存在している施設は1幼稚園、2小学校である。これらは、いずれも道路に面してはいないが、ひびが見られるなど老朽化が進んでいる箇所もあり、ブロックを撤去してフェンス等への変更が必要であると考えている。

また、ブロック塀ではないが、1中学校で道路に面している構造物が老朽化しており、地震によっては破損の恐れがあることから、撤去予定としている。

続いて、市所有施設の点検状況について報告をする。

学校施設を除く市の施設として239施設あり、そのうち、組積造(そせきづくり)の塀またはコンクリートブロック造の塀がある施設は59施設であった。

公道に面している塀のうち安全基準を満たしていないと思われる施設は12施設となっている。

今後、さらに状態の調査を行うとともに、安全基準を満たしていない施設については、撤去、修繕・補強等により対応していく予定としている。

当面、近づかないようにカラーコーン等で対応してまいりたいと考えている。詳細な調査が必要ならば調査を行い、結果によっては早急に対応していく。